

災害時の在宅避難に備えて

日常備蓄を進めましょう

災害時は物流やライフラインが滞り、食料・生活用品の確保が難しくなります。自宅にとどまる在宅避難に備えるためには、普段使用している食料・生活用品を少し多めに用意しておく「日常備蓄」が有効です。「日常備蓄」は特別に備蓄品を用意することに比べ、管理・継続が簡単です。日ごろから、各家庭で7日分を目安に備蓄しましょう。

問合せ 防災課防災管理係 ☎内線492



4・5面で、地震のときの在宅避難について紹介します

新型コロナウイルス感染防止のため引き続きご注意を

問合せ 保健予防課感染症予防係
☎内線430

都内では、家族間や会食、職場等での感染者が増加しています。感染予防には、日常生活の中での感染防止の基本を守ることが重要です。

▶身体的距離の確保(2m程度) ▶マスクの着用 ▶手洗い
※人との距離がおおむね2m以上確保できる場合は、適宜、マスクを外して涼みましょう

区施設では一部利用制限等、感染拡大防止のための対応をしています。なお、発熱やせき等体調不良の場合は、利用を控えてください

～区政は区民を幸せにするシステム～